

2024.03.02(土) 自分の道進んで  
～本校でとりよんカフェ【盛岡タイムス】



杜陵高の生徒や職員、大学生らが谈笑し交流を深めた

# 「自分の道進んで」

## 生徒が幅広い世代と交流

### 杜陵高100周年記念事業

#### 本校でとりよんカフェ

盛岡市上田の杜陵高本校(三田正百校長、定時制6人、通信制169人)で1日、校内カフェ「とりよんカフェ」が開かれた。同校の100周年記念事業の一環、同校生徒や職員、保護者、岩手大の学生ら30人以上が参加し、コーヒーを飲んだりパンを食べたりしながら、楽しい時間を過ごした。

とりよんカフェは、加者全員へ福田パンの幅広い世代のたちが、無料提供もされた。いろいろを話題で語り、赤石運さん(通信制)「空聞。見ているのも楽しい。交流すること。3年、は、亡くなった目的に開催。同校の生、恩師のためにキタ」生徒が、ナガワコヒー、弾き語りを披露。「あ、あ」などの自立や、敬語に困難を入れたりステージで、いろいろな思いが歌ったりして、会場を、あふれて、足がとんで盛り上げた。ま、参、もな、震えた。初めは、る、もわかユースポ

リラックスしていたが、だんだん目を気にしてしまったり。でも、盛り上げてもらって楽しかった」と目を涙を浮かべながらほほえんだ。

吉田繁貴さん(定時制1年)は「ステージ

があつて、歌もあつて気分が上がる。楽しい空間。見ているのも楽しい。わくわくする」と声を弾ませた。

「あ、あ」など自立や敬語に困難を入れたりステージで、いろいろな思いが歌ったりして、会場を、あふれて、足がとんで盛り上げた。ま、参、もな、震えた。初めは、る、もわかユースポ

校内カフェは、不登校や引きこもりなどを経験、または現在そのような状態にある高校生が、さまざまな立場の大人と関わることを、「話せる大人」になる大人、「信頼できる大人」と出会う場や、新たな一歩を踏み出すための安全安心の場を校内に設置することで、目的に、全国各地で行われている同校では、昨年10月の文化祭「杜陵高祭」で初めて実施した。

※ 盛岡タイムス 2024年3月2日付 この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て転載しています。